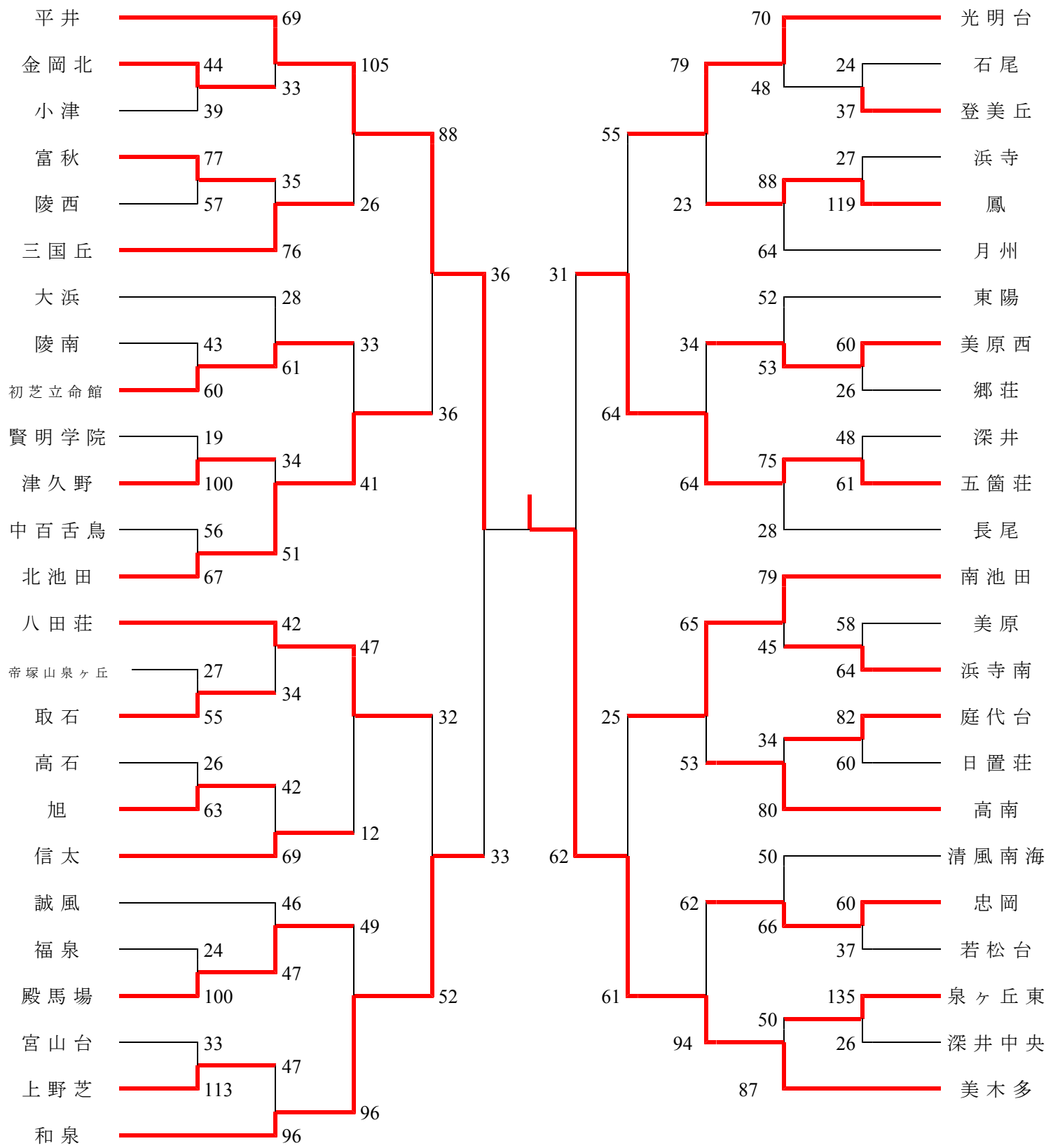


2013年度 泉北地区秋季大会

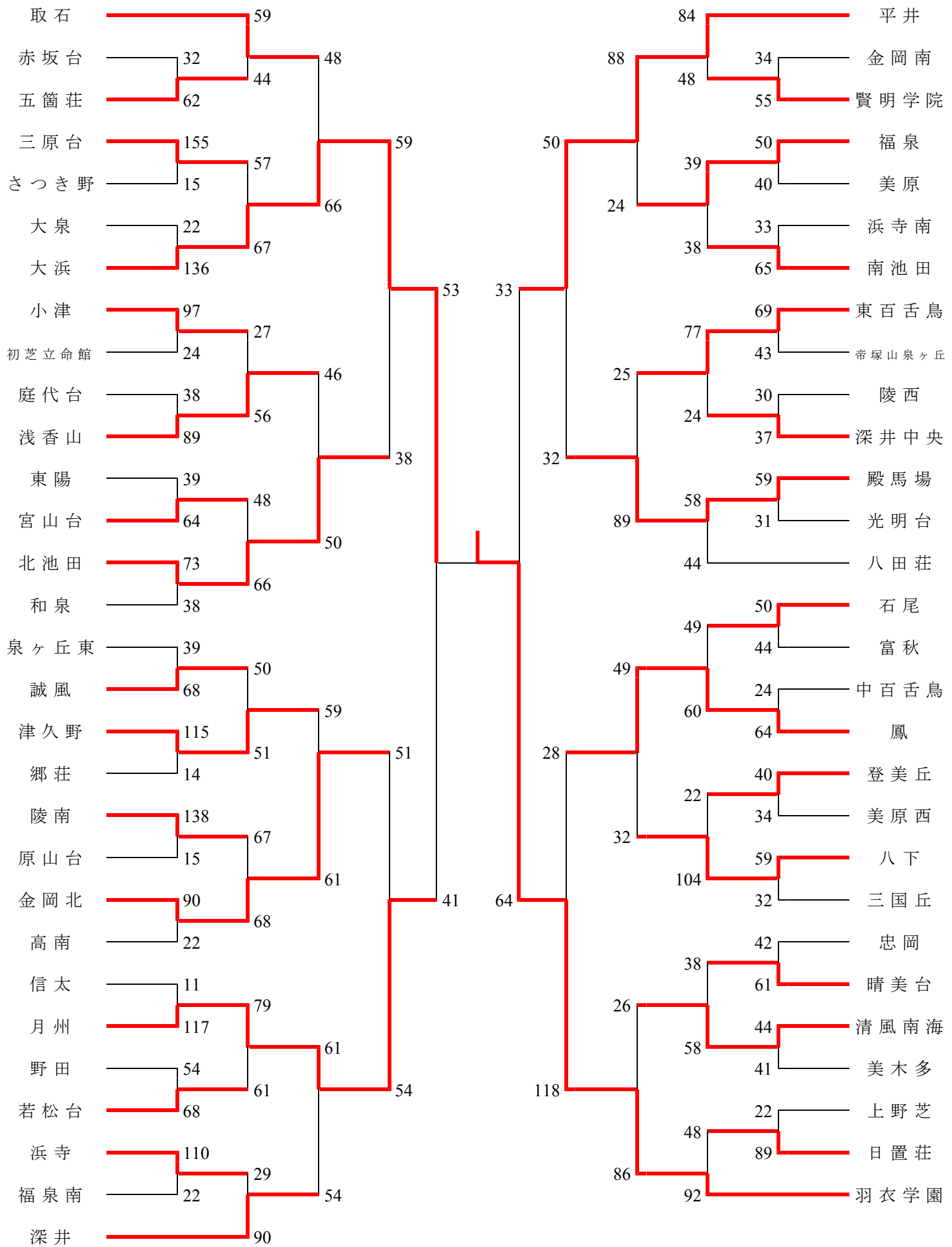
男子の部



決勝

平	井	3	1	-	6	3	美	木	多
		8	1	Q	8				
		4	2	Q	12				
		10	3	Q	24				
		9	4	Q	19				

女子の部



決勝
 大 浜 4 8 - 7 9 羽衣学園
 9 1Q 30
 17 2Q 11
 12 3Q 18
 10 4Q 20

男子決勝戦評 平井 31-63 美木多

平井④⑤⑥⑦⑩でオールコートマンツーマン、美木多④⑤⑥⑦⑧で2-3ゾーンでスタート。序盤はお互いDEFをがんばり、なかなか得点が入らない。平井は⑩の速攻、ドライブからの合わせで攻める。一方、美木多はリバウンドをとるも、シュートを決めきれず苦しむ。そんな中、⑦からの速攻や合わせで対抗し、8-8と互いに流れを譲らない。

第2Qに入り、美木多は④⑦の1対1で点をとりにかかる。平井は⑤の1対1からの合わせを美木多に読まれ、得点に結びつけることができない。互いにDEFとルーズボールをがんばり、12-20のスコアで前半を終える。

後半の開始から美木多はDEFをマンツーマンに変える。平井は⑩のゴール下のがんばりから活路を見いだそうとするが、美木多の早いカバーでプレッシャーのかかったシュートを打たされてしまう。美木多は早い展開から④⑦の1対1、⑤⑥のゴール下など、パリエーションに富んだ攻めを見せる。平井も早い展開から巻き返しを図るためオールコートでプレスをかけるものの、逆に美木多のドライブからの合わせで点差をはなされ、22-43で終える。

第4Qでは平井は点差をつめるため、激しいオールコートプレスをしかけるが、美木多のリバウンドからの速攻についていけず、点差がひらいていく。DEFのカバーの早さと速攻での走りが最後まで衰えなかった美木多が優勝を飾った。敗退した平井も点差に関係なく声を出し、最後まで走り続けていた姿が好印象であった。

(木村)

女子決勝戦評 大浜 48-79 羽衣学園

大浜④⑤⑦⑧⑫、羽衣⑤⑥⑦⑧⑨、両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。試合は羽衣⑦のロング3Pで始まる。試合開始直後から羽衣は激しいDEFで大浜にプレッシャーをかける。対する大浜は⑧のドライブや合わせなどで対抗する。大浜がリバウンド、ルーズボールをがんばり続ける中で、羽衣にファウルトラブルが起こる。しかし、羽衣はDEFの手をゆるめることなく、徐々に大浜の運びが苦しくなってくる。羽衣はDEFから攻めにつなげ、第1Qを30-9と大きくリードして終える。

第2Qでも羽衣の激しいDEFのプレッシャーが続き、大浜は思うように攻めることができない。ところが、羽衣にもシュートミスが続き、そのリバウンドを大浜ががんばるといふ展開で大浜がくらくらいついていく。一進一退の展開となり、26-41で前半を終える。

後半に入ると羽衣がシュート力を活かし、着実に得点を重ねていく。対する大浜は羽衣のオールコートDEFをかわし、速攻で攻めるが、細かいミスやハーフコートでの攻めに苦しみ、羽衣がリードを広げ試合の流れを決定づける。

第4Qに入っても試合の流れは変わらず、羽衣が優位に試合を進めていく。一試合を通じて随所に能力の高さを発揮した羽衣が強さをみせた。大浜も最後まで走り続け、点差はひらいたものの、見応えのある試合を展開した。

両チームとも、下級生のこれからのさらなる成長が楽しみである。

(塩井)